

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.8 平成26年7月14日発行
発行責任者：高一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
mail info@soya-teachers.org web : http://www.soya-teachers.org



怪獣「ハラハラ」を
やっつけろ！

宗谷教職員組合は査定昇給制度に反対です

子どもたちを不幸にさせないために 全力を尽くすまじき

七月に入り、各学校では校長先生から査定昇給制度について説明がされています。しかし、この制度の性格や、導入された際の問題点はあまり語られていないようです。
改めて、宗谷教組としてこの制度導入に反対する立場を明確にしながら、制度導入を乗り越えるための視点をまとめます。

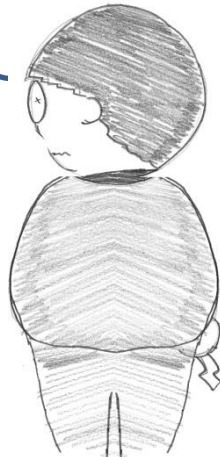
同期なのに、年間18万円差!? これが、査定昇給の現実

今回導入されようとしている月例給に対する査定昇給制度は、初任者層も対象となります。今まで当たり前だった学歴や採用年などが同じ場合、「同じ年なら同じ号俸」という常識が崩されるということになります。

下の図は、「採用4年目にして、はじめてA評価をもらった独身の先生」のモデルケースです。採用になって何年働いたか…という部分で、多少の違いはあるものの、一度のA評価（8号俸⇨C評価から比べてプラス4号俸⇨A評価）で、C評価の先生と年間約18万円前後の給料の差が生じます。

北海道教育委員会は、「士気向上」「組織の活性化」を掲げています。それどころか、生涯賃金で莫大な格差をもたらすこの制度は、大きな問題を教育現場に残します。

タロウ先生はA評価
だったらしいなあ。
同期なのに、号俸に
差がひらくって働き
づらいなあ。



→C評価だったジロウ先生

年齢も、採用年も同じ仲良しのタロウさんとジロウさん（号俸は2-28、お互い独身）。
経歴が同じなので号俸も当然同じく推移してきた4年目の春。査定昇給で号俸に差が出てしまいました。
給料の基礎額が変われば、へき地手当もボーナスも影響があります。
その差は、年額にして約18万円。おたがいに、働きづらさを感じてしまっている光景です。

- 参考までに…
号俸によって変動を受ける主なもの
- ・給料（基礎額）
 - ・教員特別手当
 - ・へき地手当
 - ・へき地手当に準ずる手当
 - ・ボーナスの勤勉・期末手当 など

←A評価をもらったタロウ先生



2015年1月の風景

給料が上がるのはいいけど、気持ち的にあましくないなあ。3月には校内人事もあるし、大変なところ引き受けないと、みんながゆるしてくれない気がするし…



査定昇給制度の問題点をホームページでも特集。 <http://www.soya-teachers.org/> タロウさんとジロウさんの給与明細も公開中

制度に負けない民主的学校づくりを進めるために…

学習しよう

- ・査定制度の制度設計を理解しよう。
- ・教育の仕事とは何か、学校とは何か、教師の自信と誇りとは何か…という観点で語り合おう。
- ・組合員だけの問題ではなく、広く仲間で。「子どもたちの教育条件」という観点で。

対話しよう

- ・教育関係者と。民主的学校づくりの側面から。
- ・保護者のみなさん、地域の方と。おらが街の子どもたちを共に育てるパートナーとして。

発信しよう

- ・学習して感じた「声」、対話して受けた叱咤激励を。

先生方の力合わせ、先生の自信と誇りは
子どもたちにとって教育条件
制度に負けない
民主的学校づくりを進めよう

宗谷情報では、これまで3号にわたり、「制度が導入されたら、先生方はハラハラになるかも」という記事をまとめました。子どもたちの視線で学校を、先生方を見た時、どんなだったら「学校は楽しいな」と思えるでしょう。先生方がなんとなくイヤな雰囲気だったり、仲が悪かったり、先生が「ちゃんとしなさい」と言ってしまう学校は、子どもたちにとって幸せではないのでしょうか。

私たち宗谷教組は、民主的学校づくりを大切にしてきました。今こそ、査定昇給制度を学び意図を理解し、この制度の問題点を共有できる仲間を増やしましょう。この取り組みが、近い将来の子どもたち、そして先生方の笑顔につながります。

OECDの教員調査から見える「こと」

教師としての

自信や誇りを持てる

学校づくり大切に

「経済協力開発機構（OECD）」が、先進国三〇国の中学校教員に対して行った「国際教員指導環境調査」の結果が発表されました。

六月二六日の新聞各紙では、特徴的な点を報道しています。朝日新聞は「学級経営や教科指導について、指導がどの程度できているかの自信」が、参加国中で最低だったこと。北海道新聞は、一日の仕事時間が参加国中、最も長かったことを指摘しています。

新聞各紙が扱っていない特筆的な項目に「教員の仕事の満足度」と「教師間の協力」という項目があります。

「教員の仕事の満足度」については、参加国中で最低なのに対し、「教師間の協力」については、最も行われていることがわかります。査定昇給制度をはじめ、管理と統制、競争と分断の教育施策が広がっています。こうした中で、私たちはもっとバラバラにされてきたら自信をなくしていくのか、世界トップクラスの教師間の協力、つまり力合わせを輝かせ民主的学

日本の先生「自信」最低

OECD 中学教員調査 勤務時間は最長

項目	日本	OECD平均
1位 マレーシア	95.2%	
2位 アラブドバイ(アラブ首長国連邦)	94.9%	
3位 ポリネシア	93.8%	
4位 ルーマニア	88.7%	
5位 ブラジル	87.6%	
...		
日本	71.9%	

朝練 授業、生徒会：学校に15時間半

OECDの調査によると、日本の中学校教員は、朝練、授業、生徒会、学校に15時間半を費やしていることが明らかになった。これは参加国中で最も長い勤務時間である。また、日本の教員は、自分の仕事に満足度が低いという結果も出てきた。これは、朝練や生徒会などの長時間勤務が、教員の満足度を下げている可能性がある。また、日本の教員は、教師間の協力に自信を持っているという結果も出てきた。これは、長時間勤務にもかかわらず、教員同士が協力し合っていることが、満足度を上げている可能性がある。

PIISA調査も行っているOECDの調査ではあるものの、文部科学省による積極的な改善には至っていないようです。私たち教職員が、「自分たちの働き方は子どもたちの教育条件なんだ」という点でも、もっと声を挙げる必要があると、考えさせられます。

夏に向けて、集う機会が続々と

宗谷教組に集う様々な集まりが元気に企画されています。

いずれも参加者募集中。気になるものがあれば、宗谷教組本部までお問い合わせください。

礼文支部青年部の学習会と交流会 7月26日(土) 学習会 16:00~、交流会 18:30~

礼文支部青年部が学習会と交流会を企画しています。ぜひ、近隣の地区からも駆けつけて一緒に盛り上げましょう。

矢臼別平和盆踊り 8月9日 別海町矢臼別

矢臼別演習場のまんなかで、50年前から平和を考えながら集まっている人々がいます。この「矢臼別平和盆踊り」は釧路・根室の教職員組合が長年サポートをしてきています。そうした意味もあり、道教組で激励をしようということになっています。

全国教研「教育のつどい」

枝幸中学校の実践がふたつ、全国の場で交流されます。幌延の佐々木先生、利尻の記虎先生が参加します。

民教の夏の学習会も続々と！ 組合とはちょっと違うけど、民主的な教育実践を学べます。

自然科学研究全道大会 日生連全国大会 in 札幌 の案内を同封！

宗谷の四季

◆組合の一年のスタートは、組織拡大・組織強化と、臨教部のがんばりです。今月はじめに行われた教員採用試験では、臨教部として学習を重ねてきた成果を発揮してきたようです。毎回、いろいろな準備をありがたうございます。この学習会があるから、勉強する気持ちとあせり感をもたうことができています。

参加して感じることは、「つらい試験に受かって先生になりたいのは、自分だけではない」ということです。それだけで、非常に気持ちが救われます。今後こういった機会を設けてほしいと思います。

自分の苦手に例年よりも向き合った今年。やれるとこまでやりました。あとは落ち着いて挑むのみ。今日までありがとうございました。2次対策もよろしくお願ひします。

◆これらは、一次試験対策学習会の最終回に書いてもらった、参加された先生方の感想の一部です。組合に集うこと、みんなで学ぶことの良さが清々しく語られています。

◆臨教部と青年部による若い先生方の活動が活発です。「こんなことしたいね」ということを少しずつ実現させていく経験が積み重なって、充実していきんだと思います。

◆ぜひ、この集う・学ぶ、そして楽しかった...という経験を宗谷教組の組合づくりのあちらこちらに広げていきたく願っています。

臨教部 二次対策学習会

- ② 7月15日
- ③ 7月22日
- ④ 7月31日
- ⑤ 8月 1日
- ⑥ 8月 4日
- ⑦ 8月 5日

②・③は19:00~21:00
④~⑦は、お問い合わせください。
場所は宗谷教育会館です。参加希望の方は、宗谷教組本部までお問い合わせください。